

事業活動に伴う環境配慮

CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み (CO₂ 排出量削減)

カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用によるCO₂の排出や物流によるCO₂の排出の削減に取り組んでいます。

工場の統廃合や海外進出に伴い、生産系事業所のCO₂排出量は京都議定書の基準年である1990年度に比べて大幅に削減されて推移しています。2015年度は1990年に比較すると46%の削減となり、京都議定書の日本の目標値6%削減に対して大幅な削減を達成しています。なお、1990年当時の支社・営業所・音楽教室のCO₂排出量の比較では、2015年度は1990年度に比較して、約27%の削減と推定しております。

省エネ法(「エネルギー使用の合理化等に関する法律」)は、一定以上のエネルギーを使用している会社はエネルギー使用量の実績や中長期の省エネ計画を届け出なければならないことを規定しています。カワイグループの工場ではピアノ製造を行っている竜洋工場と鋳物製造の株式会社カワイキャスティングの2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。自主的にCO₂削減計画を策



定し、CO₂削減に取り組んでいます。

オフィスにおきましては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。

CO₂ の吸収活動 (植林活動) の推進

「森の中の緑の工房」 竜洋工場

カワイは、1980年に「森の中の緑の工房」を目指して竜洋工場を建設しました。当初に工場周辺や構内に植えた約20,000本とその後の植樹により、現在では約26,000本の規模となりました。グラウンドを含めると工場敷地の約50%が緑地となっており、35年の歳月を経て「森の中の緑の工房」の名にふさわしい工場となりました。なお、2005年にはこの活動が評価され、緑化優良工場として(一財)日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



海外植林活動 インドネシアの「カワイの森」

2007年からインドネシアにおいて、CO₂吸収源の確保、樹木が伐採された土地に森林を再生すること、将来の木材資源の確保を目指してカワイグループ従業員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。

2012年度までの第1期に約250ha、植林本数約30万本、成育本数24万本の規模の植林を達成しました。2013年から始まった第2期では150haに約17万本の植林を実施しました。

2007年から2015年までの9年間で400haに、植林本数約47万本、生育本数40万本余の植林を実施しました。

これは年間6,200トンのCO₂吸収効果があり、竜洋工場における生産活動にともなって発生するCO₂の約1.6倍の量にあたるCO₂を吸収する効果があると試算しています。

2015年度は、西ジャワ州の50haにチークとパインを55,000本植林しました。毎年、植林に際しては、PT.カワイインドネシアとインドネシア森林公社とが契約書を交わし現地の人たちも交えて植林セレモニーを開催しています。長年の植林活動に対して西ジャワ州管区の森林公社より2015年9月28日に感謝状が贈られました。



2010年植林

2013年植林

【2010～2013年植林「カワイの森」の現状】



PT.カワイインドネシアと森林公社

インドネシア森林公社から感謝状の授与

【2015年度の植林】



主な製品の環境負荷の評価と節電活動

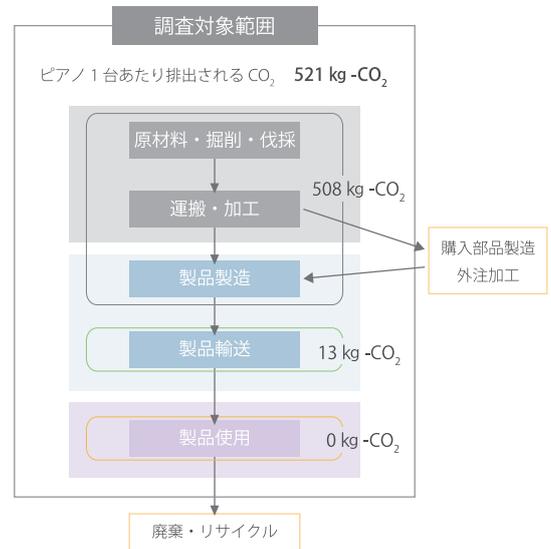
製品の環境負荷 (LCA)

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO₂及び製品を使用し、廃棄されるまでに排出されるCO₂の量をカワイの主な製品のグランドピアノ(GX-3)について行なった結果は右図のとおりです。

ピアノは、一般の電化製品、自動車等と異なり製品の使用時に排出されるCO₂はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までのCO₂排出量が製品寿命の総CO₂排出量と考えることが出来ます。

LCA 評価方法

- * LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクルアセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。
- * 製品の廃棄について
ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。
- * 購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。
- * 製品輸送は磐田市(竜洋工場)→東京間を用いています。



LCA：Life Cycle Assessment の略。

製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法。

夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。

とくに東日本大震災が発生した2011年度は節電目標を前年比15%削減として取り組み、カワイグループ全体の電力使用量を11%削減しました。

以後、毎年、社内向け、お客様向けの省エネ活動のポスターを作成し、生産部門から営業部門ともに広く理解をいただきながら省エネの啓発活動に取り組んでいます。

2016年度も継続して節電活動に取り組んでまいります。



【2015年：お客様向節電ポスター 社内向節電ポスター】

節電活動：竜洋工場のLED照明導入による節電活動と、フロン排出抑制法対応

ピアノの主力生産工場である竜洋工場の蛍光灯照明を全面的にLED照明にしました。竜洋工場は「森の中の緑の工房」として1980年の建設時から環境に配慮してきた工場です。LED照明に更新することによって照度がアップし、照明の設置台数を減らすことができ、電力使用量の削減、メンテナンス工数の削減が図れました。また、水銀灯についても2020年の水銀灯製造中止に鑑み計画的に環境問題を配慮して更新を図っております。

また、フロン排出抑制法が2015年に施行されましたが、空調設備について適正に点検を行うとともに、オゾン層破壊効果のある特定フロンを使用した古い機種から代替フロンを使用し、省エネ効果も大きい機種への更新を計画的に進めています。

